

二月は立春の月ですが、いつも寒い月で今冬も大寒波に見舞われています。今朝も晴れあがって可成り冷えました。雨不足が心配です。句会には出席者十一名、投句のみの方七名でした。小学生の投句は先月はゼロでしたが、今月は月末に貰いに行きます。来月の句会は、

三月三十日(日) 午前十時～十一時四十五分 集会所

題 「ぼかぼか」

二月の句会「いよいよ」から

* わが家にもいよいよ来るか認知症

憲郎

(つい最近のテレビで、八十代の三・五人に一人は認知症を患っているとのこと。認知症は単に物忘れがひどいと言うのではなく、尊厳と言うか人格そのものを失う病ですので、愛情なくしては世話が出来ないと実感しています。こんな病が長生きのツケとは悲しいですね。物忘れは不愉快ですが正常です。この句が最多共感句になりました。)

* 老いの坂どうのり切るか楽じゃない

桐子

(軽いコロナに感染して、なお主婦業をこなす事がいかに難行だったか、そのご苦労がこの句になりました。老いは確実に体力を削ぎ取っていきます。それを皆さんが実感されていて、右の句に次いで共感をえました。息災に暮らせることが一番の幸せですね。)

* AIがいよいよ迫る人の域

六郎

(人工知能の進歩は目覚ましく、人間社会を一変させる怖ろしさを感じます。つい最近まで人間の喜びや悲しみ、思いやり等の情感は持ちえないと言われていましたが、その説も崩されそうです。将来どんな社会が待っているのか想像もできません。)

* いよいよと心の手綱引きしめる

伸子

(先の見えない余生に、いろいろと迷いも浮かぶところですが、中七下五で卒寿の潔い心境を詠まれました。せめて思い通りの充実した晩節を送りたいものです。楽しめる趣味を持つのも一助でしょう。川柳ばんざい。)

* 値上がりを待つて決断備蓄米

隆子

(ちぐはぐな政府の対応にはあきれまます。故意に品薄を作って米価を引き上げ、業者を儲けさせることを計ったのではないかと勘繰りたくなります。チクリと刺す川柳で上手い。)

* 天ぶらに春が来たよとふきのとう

早苗

(いただきました。寒くてもいよいよ春ですね と付記あり。まことに春らしく、さわやかな句をいただきました。タラの芽、落のとう等春の御馳走が、これから本番ですね。うすい苦みが何ともたまらない。私は根っこが赤い、しゃりしゃり食感の田ぜりがなつかしい。句の作りも上手い。)

* 物価高いよいよ家計大ピンチ

英代

(諭吉さんから栄一さんになって一段と万札の値打ちが下がった気がします。ゆめマートめぐっただけでもう一万円が飛んでいく。札に羽根がついてます。米代も知らず三杯我が息子 と詠んだ方がいます。が子育て中の家庭は大変でしょう。)

* 備蓄米いよいよ出るぞ味どうだ

てるみ

(三月には備蓄米が出回る予定で、時宜を得た句をいただきました。政府の備蓄米の仕組みについては、全く関心がなく味の違いも分かりませんが、今は保存技術も整って居て普通の味は保たれていると期待します。味の吟味は冷や飯でするものだと聞いたことがあります、食べるには炊き立てが一番。)

* 関税がいよいよかかる日本にも

まゆみ

(レベルの高い時事吟をいただきました。関税がどのように家計に関わってくるかは、一般の家庭人には分かりにくいと思いますが、もしアメリカが関税を上げると日本製品がアメリカ市場で競争力を失って、売れなくなってしまう。今の物価高はガソリンをはじめ円安の影響が大きいのではないのでしょうか。)

* 胸おどる梅の花咲く春だより

洋子

(今の寒波が過ぎれば、いよいよ各地から梅の花だよりが届きそうです。梅の花は香りも爽やかですし、姿も清楚でいいですね。厳寒に耐えて凛と咲く梅の方が私は桜より好きです。三町内では、奥蘭さんの梅の花が一番でしょう。)

* 球春だ翔平躍動胸躍る

和博

(もうキャンプに入る前から大谷君の報道に胸を躍らせています。人柄からして凄いい人です。)

* はち植えの梅花蕾に春ですよ

しんこ

(人か梅の花か蕾に咲いてよと呼び掛ける句の作りが面白い。句が生き生きです。)

* 寒空に見つけた小春梅の花

展行

(句姿がすっきり整った句です。小春は秋を指す言葉ですので、寒空に見つけた春の梅の花。)

* いよいよだ平和憲法守らねば

雅子

(白虎隊の歌ですが、戦雲暗く日は落ちて・・・を思い起こさせるような、不穏な世界です。自衛装備の中に、迎撃だけでなく、相手のミサイル基地を叩く兵器を持つことが出来る様になったようです。どうやって平和を守るか我が国は岐路に立っています。)

* 蠟梅の香いよいよ春到来か

千恵

(寒い日が続く中、蠟梅の花と香りに春の訪れを感じましたと付記。春を待つ詩情があふれます。)

* 寒い中いよいよ受験がんばろう

芳子

(孫ちゃんの受験でしょうか。応援しましょう。)

* 寒空に梅の花咲き春が来る

まさひろ

(この句も奥蘭さんの梅の花が詠ませた句とのこと。五七五のお手本にしても良い整った句ですが、人間の想いを入れましょう。少し変えて、寒空に梅の花咲き春を待つ。)

* 第二章へと独りだち孫幸あれと

遊位子

(いよいよ孫の独り立ちを迎え、幸あれと祈るお婆ちゃんの気持ちですね。独り立ちで人生の第二章に踏み入れることは分かりますので分かりやすく、幸せになってね孫の独り立ち。)

* 散歩道野花逞し芽吹きあり(同想句ですが、霜を置く落ち葉の下にもうみどり。)

しんこ

* 初めての人生岐路に立つ生徒(重い、可哀そう。初めての試験に挑む受験生)

てるみ

* バトンタッチいよいよ来るぞアンカーに(花形のアンカー姿見たかった。)

まゆみ

* 庭の草我が世の春と盛り上がる(手ぐすねを引いて主は負けてない。)

伸子

* 物価高いいよ食費節約か(食費切り詰め何処も同じ台所)

千恵

* 何よりも平和が宝いよいよだ(矛と盾武器では平和守れない)

雅子

* いよいよかトンチンカンが多くなり(トンチンカンもご愛嬌)

隆子

* いよいよきた良いも悪いも覚悟いる(急がねば老いがひたひた追ってくる 朝子作)

桐子

* オオタニさん早く見たいな二刀流(子も出来ていよいよ円熟期。)

憲郎

* 仲間入り後期高齢いよいよね(花は華です姥桜)

早苗

* 春が来る菜の花ウオークで足ならし(健軍川の菜の花が無くなった。残念。)

和博

* 水ぬるみ山菜芽吹き天プラだ(腕の見せ所)

遊位子

* 今年また目鼻対策花粉飛ぶ(おまけに黄砂まで。)

展行

* 大学の狭き門向け孫はげむ(熊大目指しています。)

洋子

* 若いときゃ心おどるも今怖い(色恋沙汰ももう卒業。)

まさひろ

* 今年こそいよいよ自分ためしてる(老いても意気盛ん。)

芳子

* 備蓄米いよいよ価格動きだす

英代

(せめて買える値段になってくれ。庶民の願いです。締めめの句にいただきました。)

以上